

国外実態調査報告書

テーマ : イギリスの歴史と文化の実地調査
ゼミ名 : 笹川 浩 ゼミ
調査日 : 2024 年 2 月 27 日 (火) ~ 3 月 4 日 (月)
調査先 : 【イギリス】 Bank of England Museum, Tower of London, Hampton Court,
etc
授業科目名 : ベーシック演習 I・II
参加学生数 : 2 名 (1 年生)

調査の趣旨 (目的)

このベーシック演習は、イギリスの歴史と文化を、特に 18 世紀以降の時代に焦点を当てて学び、それぞれの出来事や事象の歴史的な意義を、文化的・社会的・政治的、あるいは経済的な背景などを視野に入れて考えるゼミであるが、今回、この海外実態調査を実施することにより、ベーシック演習でこれまで自分が調べたイギリスの歴史と文化を実際に確認すると同時に理解を深めることを目指している。

調査結果

今回の海外実態調査では、ロンドンを中心に歴史的、文化的遺産を見学した。以下はその成果の一部である。(1) 大英図書館を訪れ、マグナカルタをはじめイギリス史における第 1 級の資料の実物を見学することができた。(2) Westminster Abbey や St Paul's Cathedral などの重要な教会を実際に訪れ、イギリス国教会について深く学ぶことができた。(3) St. Paul's Cathedral や Greenwich Observatory など、17 世紀の建築家 Christopher Wren の建造物を見学し、Wren の建築の特徴などについて調査することができた。(4) ロンドンのシティや Bank of England Museum などを見学し、イギリスの中央銀行の歴史や仕組みを学ぶことができた。(5) Greenwich Observatory を見学し、船の位置を特定したり時間測定の正確さが必要とされた 17 世紀当時の歴史的背景について深く学ぶことができた。(6) Tower of London やそこに展示された戴冠式に使用される宝器 (Regalia) を見学し、11 世紀にウィリアム 1 世により建造されて以来のロンドン塔にまつわるイギリスの歴史や王室の慣習・儀式等について理解を深めることができた。(7) ロンドン郊外の Hampton Court を見学し、16 世紀のヘンリー 8 世の時代の歴史や生活習慣等について学ぶことができた。(8) Eton College を訪問し、その資料館から伝統的なパブリックスクールの学生たちの生活ぶりを知ることができた。(9) オックスフォード郊外の Woodstock にある Blenheim Palace を見学し、18 世紀初頭のスペイン継承戦争当時のヨーロッパ情勢や、その宮殿を設計した建築家兼劇作家の John Vanbrugh の建築や、風景庭園師 Lancelot Brown (Capability Brown) の設計した庭園、さらに後世そこで生まれ育った Winston Churchill についても理解を深めることができた。(10) ロンドン市内のマーケットを視察し、イギリスの食文化について調査することができた。



ロンドン パラマーケットにて